

地域学習会 資料その3

～ 小中学校での手話の必要性 ～

なぜ、手話が必要なのか

小中学校に通う難聴児に、手話は本当に必要なのか。

その前に、今の状況の確認しましょう。

インテグレートとろう・難聴児

インテグレート教育とは...

地域の中で、障害児と健常児と一緒に学ぶこと。普通学級や難聴学級に通う生徒たちがこれに当たる。

インテグレートとろう・難聴児

病院にて

うん、聞こえるし、話も分かるし、受け答えも上手だね。
この子は普通学校に行けるね！！

インテグレートとろう・難聴児

病院にて

本当ですか！
ありがとうございます！！
良かったね！！

インテグレートとろう・難聴児

学校にて

ようこそ〇〇小学校へ！
うちは障害があってもなくても
区別しないで同じように育てます。
大丈夫ですよ！！

インテグレートとろう・難聴児

学校にて

よろしくお願いします！！
うちの子、聞こえにくいので
補聴器に直接届くマイクを
使って授業してください。

インテグレートとろう・難聴児

学校にて

...分かりました。マイクを使えば
聞こえるんですね。忘れないよう
に気を付けますね。しっかり聞く
ように、本人にも伝えてください！

インテグレートとろう・難聴児

...ここで問題です。

インテグレートした方が
大人になってから語る時、

一番困っていたことって、何でしょう？

インテグレートとろう・難聴児

先生の話が聞こえないこと？
授業についていけないこと？

...いいえ。全然違います。

インテグレートとろう・難聴児

一番悩み、苦しんでいたのは...

友達の会話についていけないこと

だったようです。

インテグレートとろう・難聴児

自分には話が聞こえない

でも、友達は大笑いしている...
自分が聞こえないことは言えない...

だから、話についていけない

インテグレートとろう・難聴児

担任の先生は、
「授業でマイクを付ければいいんだ」
とだけ思っています。

誰も、本人の悩みに気づいてくれない。
誰とも分かり合えない。

インテグレートとろう・難聴児

もし、地域の難聴児が集まったら。
そこで共通の言葉が使えたら。

手話や指文字で、友達の話が分かる！！

...でも、そんなことできるの？

京都市立二条中学校(固定制難聴学級)

- ・難聴学級で手話や指文字を使った授業を受ける。
- ・普通学級での授業も受けられる。
- ・体育や部活動は普通学級と一緒にやる。
- ・文化祭では全校で手話コーラスを練習している。
- ・普通学級の生徒が行事や部活で手話通訳することも。

そんな学校が、本当にあった！！

教育とろう・難聴児

インテグレートしている難聴児は、
誰にも言えない悩みを抱えていたり、
自分自身も苦しさに気づかずにいます。

大人(教師・保護者)は、それに気づかず
「あの子は大丈夫、元気にやっています」と
思っているようです(当事者の証言による)。

では、どんな環境を整えば良い？

1. 医療機関で手話使用を肯定的に指導

- 乳幼児期から手話を学べる選択肢がある環境
- 保護者が「音も手話も大事」と言える環境

2. 小中学校に固定制難聴学級を設置

- 小学校に「手話・指文字がある」から安心して学べる
- 子どもの集団に入れる！！→社会性が伸びる
- 普通学級⇔難聴学級⇔聾学校の選択がスムーズに

今回の感想を書いてみよう！
